

# ふくおかのふくし

—Welfare of Fukuoka—

No.

137

2013年1月

心のもったお餅をご近所の高齢者に  
～地域のつながりを育む東峰学園の取り組み～  
(本誌5頁掲載)



## 今号の主な内容

- 特集 やりがいのある福祉の職場をめざして ..... P 1
- 地域の課題は地域で解決 ..... P 3  
新宮区さわやか買い物サポート支援事業 (新宮区福祉会)
- 福岡県共同募金会記事 ..... P 5  
・赤い羽根共同募金は地域住民の絆づくりを支援しています  
・赤い羽根 NEWS  
キーワードは「WIN&WIN&WIN」～共同募金の新しいかたち～
- 障がい者の手づくり製品が、こんなステキな商品になりました! ..... P 7  
全国ナイスハートバザール in 福岡開催 !!

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の  
配分金を受けて発行しています。



# 特集 やりがいのある福祉の職場をめざして

総務省統計局の労働力調査（平成24年11月30日発表）によると、産業別の統計で「医療・福祉」分野への就業者が増加しており、福祉の職場で働く労働者数は増加傾向にあると考えられます。

しかし、離職率は約16%（厚生労働省 平成23年雇用動向調査）となっており、福岡県における介護関係の有効求人倍率も約2.21という現状から、福祉の職場の人材確保は依然として急務の課題となっておりま

す。

本誌特集では、人材確保を目的とした施設や、福祉人材センターの活動等を掲載し、人材確保のための取り組み方を考えます。

## 事例紹介

### 共に支え合い、成長し合う職場づくり

#### 社会福祉法人 ひじり会（久留米市）の取り組み

本特集では、社会福祉法人ひじり会 鬼塚 香津子 理事に、人材確保のための取り組みについてお話を伺いました。

### 働きやすい環境づくり

当法人が運営する特別養護老人ホーム「ひじり園」（鬼塚 香津子 施設長）では、家庭の事情等により短時間しか勤務できない職員以外は、すべて正職員として雇用しています。その中で、職員間で待遇等の不公平感をなくし、チームワークがとりやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

平成8年から、職員のモチベーション向上と心身のリフレッシュ等を目的に、正職員、パート職員にかかわらず連続7日間のリフレッシュ休暇を取得してもらうようにしてい

ます。休暇を利用した職員からは、「長期の休暇を利用して家族サービスができた」、「毎年この休暇を利用して仲間と海外旅行に出かけています」などの声が聞くことができます。

「長期の休暇を利用して家族サービスができた」、「毎年この休暇を利用して仲間と海外旅行に出かけています」などの声が聞くことができます。

支援しています。

『育児休暇・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律』の定めにより、育児休業や介護休業の規定を設け実行しています。

### 子育て・介護をしながら働く職員への配慮

当法人は全面的に子育て、介護を

現在、ひじり会では11名の職員が育児休業中ですが、期間については、本人の希望に合わせて取得してもらっています。



ひじり会理事 鬼塚香津子さん（左）  
介護付有料老人ホームウエルネス  
管理者 江嶋 一貴さん（右）

「職員は宝」と話される鬼塚さん。職員一人ひとりに目を配り、職員全員が「やりがい」を有する職場づくりのために尽力されています。

でも現場復帰ができる職場環境づくりを心がけています。復帰後の勤務形態についても、本人の家庭環境に合わせて配慮し、安心して働ける環境を整えています。

## 人材定着に向けて― スキルアップ、人材育成

毎月1回、法人全体の職員研修会を開催しています。多数の職員が集まり、研修委員会が計画した内容に沿って報告や発表が行われます。また、その中で職員の発信力向上を目的として、3分間スピーチを取り入れています。スピーチをする職員はその場で決まるため、月1回の研修会に向けて職員が様々な情報を取り入れることで、福祉分野以外の知識向上にもつながっていると考えています。

また、各事業所でも月1回の勉強会や発表会を実施しています。

加えて、介護支援専門員を中心に施設長を含め、介護スタッフや看護師等すべての職員が多職種連携でケアプランの作成を行っています。プランに職員自身の思いが反映されることで、自身の「学び」、「やりがい」にもつながり、サービスの質の向上にもつながっています。

さらに、セクション（ユニット）ごとにテーマを決め、年に1回の事例発表会を開催しています。新人からベテランまで1つのテーマを全員が検討研究することにより、チーム

ワークの形成、多職種の連携強化、個人のスキルアップにつながっています。

その他に、「自己啓発支援」として職員の資格取得、スキルアップのための研修への参加等に伴う費用の支援や、職場で女性職員に比べ、少ない男性職員を対象に、職場のストレス解消や情報交換を目的にした男子会、還暦以上の職員を対象にした親睦会など、職員がやりがいを感じ、共に成長し合える環境づくりにも取り組んでいます。

### 職員の声

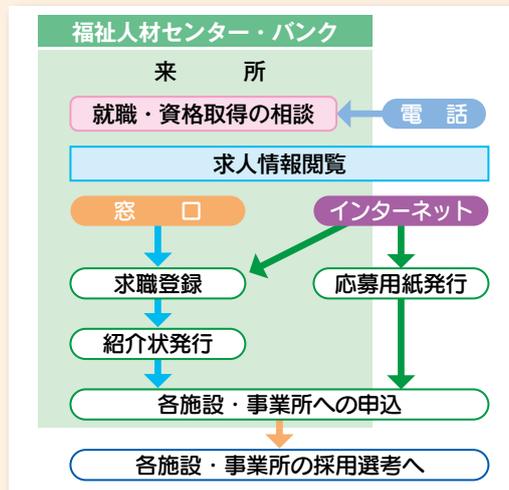
介護付有料老人ホーム ウェルネス  
管理者 江嶋 一貴 さん

以前は地元の教育委員会の嘱託職員として働いていました。それまで、福祉の仕事をしたことがなく、不安もありましたが、直接人と関わることができ、福祉の職場にやりがい・よるこびを感じています。また、職場内の研修等を通して介護分野だけではなく、様々な人たちとも関わることができ、本当に充実した日々を送っています。

## 応援します！福祉のお仕事

福岡県福祉人材センター・バンクは、福祉の仕事に就きたい、資格を取りたいなど、あなたのやる気をサポートします。

●福祉のお仕事ホームページ <http://www.fukushi-work.jp>  
Webサイト「福祉のお仕事」では求人情報の検索・応募ができます。紹介状が必要な場合は、求人を取り扱う福祉人材センター・バンクにご連絡ください。



## 福祉の職場で働きたい！福祉の職場合同就職面談会開催

福祉の職場に関心のある人や、就職を希望する人と福祉施設等との面談会です。求職相談や資格取得相談コーナーもあります。 ※参加無料・申込不要

日時 平成25年2月1日(金) 10時30分から15時まで (受付は10時から14時30分まで)

場所 クローバープラザ (春日市原町3-1-7) ※来場は公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先 福岡県社会福祉協議会 人材・情報課 ☎ 092 (584) 3310

# 地域の課題は地域で解決

—新宮区さわやか買い物サポート支援事業の取り組み— (糟屋郡新宮町)

今、地域では、少子高齢化や過疎化などを背景に、さまざまな生活課題が起こっています。この課題を地域住民が連携・協力することで解決してこうとする取り組みが各地で広がっています。

今号では、地域の問題を地域で解決する仕組みづくり・安心して暮らせる地域づくりを展開している新宮町新宮区福祉会の「新宮区さわやか買い物サポート支援事業」(以下、「支援事業」という)の取り組みを紹介します。

「外に出て、  
買い物ができるハンズが嬉しい」



◆新宮区福祉会の桐島会長

「地域の高齢者を孤立させないという思いで支援事業を始めました。外出してもらい、皆で買い物することで会話も生まれ、健康維持にもつながります。高齢化が進むにつれて、将来を考えた時に、生活に関わる課題がどんどん広がってくるのでは、という意識が福祉会の中で共有されたことがはじまりです」(新宮区福祉会の桐島 信正会長)

## 地域の課題集約から

玄海灘に面している新宮区は人口773名75歳以上の高齢者127名、高齢化率が25・5%で町内でも高齢化が比較的進んでいる行政区です。近くにあった商店や小売店が閉店し、歩いていける距離に買い物ができる場所がありません。

福祉会で行っている見守り訪問活動の中で「買い物ができない」「新鮮なものを食べたい」などの相談が民生委員や福祉委員に寄せられたことがきっかけで、区が70歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、買い物に関する実態を把握するためのアンケート調査を行いました。

その結果「重い物が持てないので、少量しか買い物ができない」「家族の協力がないと買い物に行けない」など日常生活に支障をきたしているという課題があがってきました。その課題を踏まえて、福祉会で「困っている人がいるからやってみよう」と、新宮町社会福祉協議会と相談しながら、何度も協議を重ねて支援事業が始まりました。

## 買い物サポート支援事業とは

支援事業は、平成24年6月から始まり、毎月2回(第2日曜日/第4金曜日)自分で買い物ができる70歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者世帯

の方々を対象に、買い物のために公民館からスーパーマーケットまでを送迎する事業です。現在23名の登録があり、毎回約15名の方が利用しています。利用にあたっては、福祉会へ年会費500円、1回につき200円を寄付します。支援事業が開始されるにあたって、公民館からスーパーまで自家用車で送迎できる「買い物サポーター」を区内で呼びかけたところ、25名の登録申込がありました。



◆利用者を笑顔で迎える買い物サポーター

# これがきっかけで知り合いができた

## 施設を巻き込んだ学習会

「買い物サポーターの協力がなくては、この事業は成り立ちません」とサポーターの連絡・調整を担う新宮区福祉会役員の常岡 英之さんは言います。

サポーターは、近隣の施設「さくら苑」の協力を得て、乗降時の注意点や介助方法に関する学習会を行い、指導を受けた要点を「送迎に関するマニュアル」にまとめ、サポーター全員で共有しています。



◆買い物と会話を楽しむ廣島さん（左側）



◆降車時の介助の様子

駐車スペースの確保や安全確認、買い物カートの手渡しなど、事業に協力するスーパーのスタッフ



◆送迎に関するマニュアル

公民館からスーパーに向かう車中では、今日の献立や調理の味付けなどの会話が生まれ、利用者にとつての楽しみの一つとなっています。スーパーに到着すると、お店の警備スタッフから買い物カートが手渡され、各自で買い物を始めます。買い物物の終了時間になると、待合所に集合するよう店内アナウンスが流れます。それぞれ荷物を車に積み込み、乗車するとサポーターが利用者宅まで送迎して、一日の活動が終わります。

利用者の一人である廣島タツ子さん（84歳）は「生まれてからずっと新宮町に住んでいます。今は一人暮らしで近所の付き合いいもありませんでした。外に出て、自分で買い物できることがとても嬉しい。知り合いが増えたことも、元気の源になっています」と笑顔で話されました。

廣島さんは買い物きっかけでサロン活動にも参加するようになり、「外に出るようになった」と周囲でも評判です。事業を通じて、地域社会とのつながりも生まれています。



◆買い物が終わり、車に荷物を積み込む利用者の皆さん

## 活動を応援する社協の役割

新宮町社協では、アンケート調査の結果を踏まえ、活動の提案や事業の役割分担等、事業立ち上げに向けて、福祉会活動を側面的にサポートしています。「新宮区はさまざまな方が地域福祉活動に携わり、協力体制が整っています。『近くに買い物できる場所がない』という地域の生活課題に対し、できない理由を考えるのではなく、課題を前向きに捉え、どうしたら実現できるのか協議を重ねながら一生懸命考え、活動に結びつけることができました。これからは地域に根ざした活動を応援していきたい」と町社協の吉田美枝さんは話されました。



◆品物を選ぶときの会話も楽しみの一つ

じぶんの町を良くするしくみ  
地域で役立てられる共同募金

## 赤い羽根共同募金は

# 地域住民の絆づくりを支援しています



共同募金は、地域の「絆」づくりに大いに役立っています。

東峰村にある東峰学園では、子どもたちがついたお餅を、地域の70歳以上の高齢者のお宅に届ける活動を長年行っており、共同募金の配分金を活用しています。

「東峰学園は、東峰村唯一の学校で、昨年度小中一貫校として統合されました。現在、小学生96名、中学生53名の149名が在学しています。この活動は昭和63年頃から東峰中学校が学校田を使って行っていた



もので、昨年からは、児童・生徒が行っています。今は、PTAや地域のボランティアの方々との協力を得ながら、総合学習として、田植え・稲刈りも子どもたちが行っています。」と話す奈須啓二教頭先生。

そんなもち米を使う伝統ある餅つきは、今年は、小学5年生と中学1年生が担当。保護者や、近所の高齢者の皆さんと、174世帯分のお餅を一生懸命につきました。

参加した近所の高齢者の方は「毎年餅つきを楽しみにしています。子どもたちは餅つきを覚えるのが早いですよ。」と目を細めて言われました。

奈須教頭先生は「中学生の時に経験した方が、今日は保護者となつて、二世代で参加しています。地域の方も楽しんでいただいております。今では欠かせない学校行事となつてい



ます。」と話していただきました。

そして、餅つきの翌日、中学生が学校の帰りに、近所の高齢者へお餅と心のこもった手紙を届けます。日頃から近所付き合いがあるため、届ける生徒も「○○のおばあちゃんの家」など、場所は熟知しています。

お餅を受け取った方は、「昔から知っている近所の子どもたちが、毎年お餅を届けてくれてありがたいです。お餅を受け取ると、もう年末だなという気がしますね。」と嬉しそうに話していただきました。

地域の結びつきの重要性が、今改めて見直されています。誰もが安心して暮らせる町の実現のため、子どもたちと高齢者の多世代交流など、地域住民の絆を育む活動にも、共同募金会は支援を続けていきます。



共同募金運動・歳末たすけあい運動に

## ご協力ありがとうございました

福岡県共同募金会では、「共同募金運動」を10月1日から12月31日まで、「歳末たすけあい運動」を12月1日から12月31日まで実施しました。

運動期間中は、多くの募金ボランティアの皆様の協力を得て、県民の皆さまから多額の浄財をいただきました。厚くお礼申し上げます。

寄せられた浄財は、本会の配分委員会で厳正な審査を行い、福岡県の地域福祉推進のため、また大規模災害に備えた積立金として活用させていただきます。

【問合せ先】

福岡県共同募金会

☎092(584)3388



## キーワードは「WIN & WIN & WIN」～共同募金の新しいかたち～

福岡県共同募金会では、募金実績向上の新たな取り組みとして、各支会と企業等が連携した『寄付金付き商品』の開発を実施しており、既に下記のような新たな取り組みを行っています。

これまで、清涼飲料水メーカーと連携し、寄付金付きの「赤い羽根自販機」の推進を行い、現在、185台の自販機を設置していますが、この取り組みをさらに広げ、様々な企業等と寄付金付き商品を開発することで、共同募金の実績向上を図っています。(WIN)

企業等にとっては、共同募金会との連携は、新たな顧客の開拓や広報活動の強化、企業の信頼感やイメージアップにも繋がり、多くのメリットを受けられます。(WIN)

購入者(地域住民)にとっても、寄付金付き商品を選ぶことで、じぶんの町を良くするための様々な福祉活動や、大規模災害時の被災地支援に気軽に協力できるメリットがあります。(WIN)

このように、『寄付金付き商品』は、「共同募金」「企業等」「購入者(地域住民)」の全てにメリットがある新たな取り組みです。

『寄付金付き商品』に関するお問い合わせは、福岡県共同募金会まで。☎092(584)3388

### 寄付金付きのおせち料理(苅田町)

おせちを買って気軽に募金を…苅田町の仕出し屋「でや」では、おせち料理1食につき100円を寄付するという活動に取り組みされました。昨年11月12日の調印式には、多くのマスコミが集まり、寄付金付き商品に対する関心の高さも窺えました。

武内三男店長は「募金額が減っていると聞き、何か協力できればと思いました。うちの店が皮切りとなり、少しでも寄付の輪が広がればうれしいです。」と取り組みのきっかけを話されました。

結果は、例年と比べ新規のお客さんからの注文が多く、とても盛況だったとのことですが、箱が足りずに注文を一部断ったこともあり、150食の注文を受けられ、15,000円をご寄付いただきました。

福岡発!!  
寄付金付きおせち



野口副支会長(左)と武内店長(右)

### 寄付金付きの居酒屋メニュー(宇美町)

宇美町の居酒屋「ご馳走屋 酔R処(よりどころ)」では、大人気の3メニュー(シーザーサラダ、海老チリマヨ炒め、豚足各種)のいずれかを注文するごとに、50円を寄付するという活動に取り組みされました。今回は、11月1日から12月24日までの期間限定で行われ、187食分9,350円をご寄付いただきました。

店主の末廣さんは、「例年よりもお客さんが増え、寄付金付きのメニューの注文も増えたように感じます。今後も、宇美町のために赤い羽根共同募金に協力していこうと思います。」と、力強く話されました。



自慢の人気3メニューが  
寄付金付きに!!



「寄付金は宇美町の地域福祉活動に役立ててほしい」と、末廣さん(写真右)

### 寄付金付きの劇団グッズ(福岡市)

福岡市で、イベントの企画やデザインを手掛ける「株式会社 ああARTic」では、専属劇団である「縁劇繻団つむじ」の人気グッズであるエコバッグ(315円)1つにつき、30円を寄付する取り組みを始められました。日頃から福祉施設への出張公演等も行っているこの劇団は、県内をはじめ、九州全域で活躍中です。座長の旋風三十郎さんは「僕達は『人』と『人』の縁を『紡ぐ』ことをテーマに活動しています。この活動が少しでも地域の活性化に繋がり、地域貢献という形でも『縁』劇旋風を起こせるよう、頑張っていきたいと思います。」と話されました。



旋風三十郎座長(中央)と劇団員の皆さん

© 縁劇繻団つむじ/株式会社ああARTic  
URL: <http://e-tsumuji.jp/>

[障がい者の手づくり製品が、こんなステキな商品になりました!]

# 全国 平成24年度 ほっこり!こころ温まる... ナイスハートバザール in 福岡

真心をもってお届けします! ●全国の福祉施設・作業所の製品即売会 ●東日本大震災被災施設復興支援

## NICE HEART BAZAAR

●ナイスハートバザールとは、福祉施設、作業所などで作っている製品の即売会です。心のこもった温かい手づくりの品々をご用意してお待ちいたしております。



### 全国ナイスハートバザールin福岡 開催!!

1月23日(水)から27日(日)にかけて福岡市の福岡三越9階催物会場にて「全国ナイスハートバザールin福岡」を開催します。

この事業は、全国社会福祉協議会を通じて昭和59年度から社会就労センター(授産施設)の事業振興を目的に、国庫補助により共同受注・販売事業等を進めており、その一環として都道府県における社会就労事業の活性化を図るため実施しているものです。

「全国ナイスハートバザールin福岡」では、福岡県内及び全国の障害者支援施設(身体・知的・精神)等で作られている製品を販売するとともに、東日本大震災で被災された障害者支援施設等の自主製品の販売支援を行います。

多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

### ◆イベントプログラム

23日(水)	●開場(10時) ●マーチング演奏(10時) (学)麻生学園日佐幼稚園 ●沖縄エイサー(12時・15時) 障害者支援施設「板屋学園」
24日(木)	●マジックショー(14時・16時) 障害者支援施設「りんごの唄」
25日(金)	●ピアノ演奏(11時) 渡辺祐史さん(清浄学園) ●沖縄三線(12時・15時) 古賀市三線サークル
26日(土)	●ミュージカル(10時30分・13時) 社会福祉法人茜会あかね園の皆さん ●トークショー(14時) ・椎葉 ユウさん(タレント) ・山本 浩之さん (パラリンピック車イスマラソン出場選手) ●劇団「ひまわり」歌&トーク(16時) 劇団「ひまわり」「スーホの白い馬」出演者の皆さん
27日(日)	●フラダンスショー(12時・14時) 吉永成美 フラ&タヒチアンダンススクールの皆さん



スイーツ甲子園グランプリ受賞  
「和三盆コロシ」  
(とくしま障害者授産支援協議会/AWANOWA)

◆東日本大震災被災施設復興支援  
**東北地方のセルブ商品**  
東北から17施設が出店!!

「へるしーりんご」  
えさしふれあい工房(岩手県)

「伊達の燻製 銀鮭」 びあファクトリー(宮城県) 丸財布 でんでんむし(福島県)



全国から70施設の製品が福岡に大集合!!

### まごころ製品の即売会

地元福岡から29施設が出店します

#### ◆福岡県内出店施設一覧

- ・蓮の団地(八女市): 緑茶、健康茶、馬油、漬物、ミカン、シイタケ等
- ・セルブちくほ(飯塚市): 縫製品、かりんとう、ピクルス、乾燥パスタ等
- ・宰府園(大宰府市): 木工品・日用雑貨
- ・あきさと園(田川市): クッキー、クッキー詰合せ
- ・ひまわり園(福岡市): クッキー、ラスク、木工玩具等
- ・小富士園(糸島市): 博多人形の実演・体験等
- ・希望舎(岡垣町): クッキー詰合せ、ダイアランプ等
- ・福岡コロニー・なのみ工芸(古賀市): さをり織り人形、縫製品等
- ・もち福祉プラザ(福岡市): クッキー、パウンドケーキ等
- ・耳納学園(久留米市): 陶器各種
- ・北九州フレンド(北九州市): 陶器各種
- ・ひなの家(桂川町): パン、ラスク、クッキー、ケーキ、サンドイッチ等
- ・和白苑(福岡市): 木工雑貨、米、縫製品等
- ・秀峰園(川崎町): ポンせんべい、さしみこんにゃく、味噌、縫製品等
- ・たんぼぼ(大牟田市): ドレッシング、じゃんたれ、弁当、カレー等
- ・サングリーン(広川町): 焼酎、キュウリ、漬物、ミニトマト、ジャム等
- ・セルフ清浄(嘉麻市): チーズケーキ、ロールケーキ、こんにゃく、味噌等
- ・Create 803(宇美町): ポップコーン実演販売
- ・ワークランド・こすもす(築上町): サブレ、焼き菓子、ピーズ製品等
- ・恵愛ワークセンター(大牟田市): パン
- ・玄海第一育生園(糸島市): おからかりんとう
- ・健康荘(柳川市): 卵、おつゆ、ヨーロ卵、卵等
- ・若宮園(宮若市): 焼酎、パン、サツマイモ等
- ・ステップアップ(粕屋町): ドーナツ、クッキー、パウンドケーキ等
- ・おほり苑(福岡市): ロールケーキ、プリン、ギフトセット等
- ・こがね園(朝倉市): さをり織り、クッキー等
- ・ふれんず(大牟田市): さをり織、縫製・手織製品等
- ・福岡市立ふよう学園(福岡市): クッキー、パウンドケーキ、陶器等
- ・出合いの場ポレポレ(久留米市): クッキー、パン等

2013年1月 **23** 日(水) ~ 1月 **27** 日(日) 午前10時~午後8時  
(最終日は午後6時閉場)

**[会場] 福岡三越9階=催物会場** (福岡市中央区天神2-1-1)

- 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 / 全国社会就労センター協議会 / 特定非営利活動法人 日本セルフセンター  
社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 / 福岡県社会就労センター協議会 / 福岡県セルフセンター
- 協力 株式会社岩田屋三越 / メゾン・ド・ヨシダ桜坂 / 博多食文化の会
- 後援 福岡県 / 福岡市 / 福岡県教育委員会 / 福岡市教育委員会 / 福岡県身体障害者施設協議会 / 福岡県知的障害者福祉協会 / 福岡市民間障がい施設協議会  
九社連授産施設協議会 / 西日本新聞社 / 毎日新聞社 / 読売新聞西部本社 / 朝日新聞社 / TNC テレビ西日本 / NHK 福岡放送局 / RKB 毎日放送  
FBS 福岡放送 / 九州朝日放送 / LOVE FM/cross fm

#### お問い合わせ先

全国ナイスハートバザール in 福岡  
実行委員会 事務局

〒816-0804 春日市原町3-1-7  
福岡県社会福祉協議会 施設課  
☎ 092 (584) 3377  
FAX 092 (584) 3369・3381  
HPアドレス: <http://www.fsw.or.jp>

# 利用者の「安心」「信頼」、 職員の「意欲向上」「意識改革」につなげよう

～福祉サービス第三者評価事業のご案内～

## 福祉サービスの第三者評価とは

- 福祉サービスを提供する事業者のサービスの質について、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みです。
- 事業者の福祉サービスの質の向上を図ることを目的としています。評価結果は、利用者・家族の情報源となります。

## 受審の効果は

- 利用者の安全・権利擁護、職員の資質の向上、中長期的計画等、健全な福祉経営の新たなヒントを得るきっかけになります。
- 第三者評価のプロセス（職場での自己評価、訪問調査等）を通して、職員の気づきの力、サービスの改善点、課題の共有化が深まります。
- 利用者・家族への調査を通して、利用者本位のサービスづくりに役立ちます。

## 対象となる「福祉サービス」とは

- 社会福祉法に規定された社会福祉事業として提供されるすべての事業です。  
ただし、社会福祉法に規定された「福祉サービス利用援助事業」及び「連絡又は助成を行う事業及びその他の相談を行う事業」は除きます。
- 介護保険法で規定された居宅サービス及び施設サービスとして提供されるサービスです。

## 第三者評価を受けて

社会福祉法人福岡育児院 / 福岡育児院（福岡市東区）

平成24年に第三者評価を受審された福岡育児院の橋本博文施設長に、第三者評価についてお話を伺いました。

### Q 1. 第三者評価を受審してみて、どうでしたか？

第三者評価の受審を通して、施設での日頃の業務を見直すことができました。自己評価では、施設で通常行っていることを明文化することが求められ、様々な事を整理することができ、問題点や発想の転換が必要なことなどに気付くことができました。

### Q 2. 受審後、職員に変化はありましたか？

今回の自己評価を行うにあたり、全職員が所属する幼児・男児・女児等の各部において自己評価を作成しました。作業の段階で、職員同士のディスカッションにより問題点の共通理解ができました。

これらの作業は、確認作業として役に立ち、問題点や共通認識の課題を改めて見つけることができました。今後の養護実践に生かしていきます。



## 平成24年度から社会的養護関係施設の受審・評価結果の公表が義務化

- 平成24年度から社会的養護関係施設は毎年「自己評価」を行うとともに、3年に1度「第三者評価」を受審・公表することが義務付けられました。
- 義務付けられた社会的養護関係施設は、以下の5種類の施設です。  
児童養護施設・乳児院・情緒障害児短期治療施設・児童自立支援施設・母子生活支援施設

※社会的養護関係施設の自己評価様式及び第三者評価機関は全国推進組織の第三者評価事業（全国社会福祉協議会）ホームページをご参照ください。自己評価様式のダウンロードもできます。  
<http://www.shakyo-hyouka.net>

信頼され選ばれる福祉サービス事業者になるために、是非とも第三者評価を受審していただくとともに、利用者の方々にもその取り組みを広く周知し、安心して質の高い福祉サービスをご利用いただけるよう、福祉サービス第三者評価事業の積極的な活用をお願いいたします。

### 【受審問合せ・申込み先】

- ・公益社団法人 福岡県社会福祉士会 ☎ 092 (483) 2944
- ・特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ ☎ 0952 (41) 6522

### 【福岡県福祉サービス第三者評価推進機構事務局】

福岡県社会福祉協議会 県民サービス部 評価・相談課 ☎ 092 (584) 3610

**Q** 認知症の母親と二人暮らしです。介護者がいないので退職しようか迷い、これからどうなるのか不安を感じています。

78歳の認知症の母と、44歳の一人娘の私との2人暮らしです。

今までどうにか仕事をしながら母を介護してきましたが、最近物忘れがひどくなり、食事の後片付けや、掃除をすることも難しく、日中一人にするのが不安になってきました。

他に介護をする人もおらず、退職すると生活は母親の遺族年金のみになるので余裕はありませんが、どうか2人暮らしができそうです。このため、退職しようか迷っています。

**A** 介護保険の申請をして、日々の負担を減らし、できれば就労を継続しましょう。

一人で介護をしていると、仕事を続けるのが難しいことはよくわかります。

しかし、介護はいつまで続くかはわかりませんが、あなたの生活はもっと続きます。あなたの将来のために、ご自分の生活基盤を守ることは大切です。

仕事を辞めずに二人で生活できる方法を考えてみましょう。

まず、介護保険の申請をし、ショートステイやデイサービスなどを利用することができれば、日々の負担を減らすことができます。

介護について悩み事があれば、各市区町村にある地域包括支援センターや下記の高齢者総合相談事業の認知症相談の利用も可能です。

また、介護の見通しが立つまで、法律で定められている介護休業や短時間勤務を利用することができないか職場に相談しておくことも大切です。

## 認知症電話相談（高齢者総合相談事業）のご案内

認知症予防に関する質問、認知症の症状、介護の仕方等に関する相談、家族介護における心構えや具体的な接し方、介護疲れや悩みの相談などお気軽にご相談ください。

○相談先 福岡県社会福祉協議会 県民サービス部 評価・相談課 ☎ 092 (584) 3317

○担当相談員 介護経験者（認知症の人と家族の会福岡県支部）  
相談日 火曜日、金曜日 相談時間 10：00～16：00

○担当相談員 保健師（福岡県在宅保健師若草会）  
相談日 木曜日、土曜日 相談時間 10：00～16：00

## 医薬品を社会に役立てたい

### 福岡県医薬品配置協会 県内の母子生活支援施設に医薬品寄付

医薬品の正しい取り扱いについて、広く国民に啓発するため「薬と健康の週間」が10月17日から23日までの一週間実施されました。

本行事の一環として、(社)福岡県医薬品配置協会では、医薬品及び寄付金を社会に役立てたいという思いから、県内の母子生活支援施設にキズ絆1500個の寄贈、及び(財)福岡県メディカルセンターへ20万円の寄付をされました。

昨年11月28日に福岡県庁で行われた贈呈式では、上村 光昭 福岡県医薬品配置協会会長から贈呈を受けた香月 進 福岡県保健医療介護部医監が濱崎幸洋 福岡県母子生活支援施設協議会副会長と大郷勝三 福岡県メディカルセンター常務理事に目録を贈呈されました。

福岡県医薬品配置協会様ありがとうございました。



贈呈式で目録を受け取る濱崎幸洋県母子生活支援施設協議会副会長(左)

## ノロウイルスによる食中毒にご注意ください

ノロウイルスは、乳幼児から高齢者に至る広い年齢層で急性胃腸炎を引き起こすウイルスです。このウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、**冬季に流行**します。

特に今季は、全国的に集団感染や死亡事件の報告が見られるなど、ノロウイルスなどによる食中毒発生事件が増加しており、昨年11月の発生件数は、同時期としては過去5年間で最多の事件数(厚生労働省発表)となっており、十分な感染予防対策を行う必要があります。

### ★主な症状

- ・吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が1日～2日続く  
※感染しても症状のない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。
- ・乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意

### ★感染経路

- ・感染した人が調理などをして汚染された食品
- ・ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など
- ・患者のふん便やおう吐物からの二次感染
- ・家庭や施設内などでの飛沫などによる感染

### ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

#### 1 調理する人の健康管理

- ・普段から感染しないように食べ物や家族の健康状態に注意する
- ・症状がある時は、食品を直接取扱う作業をしない。また、すぐに責任者に報告する仕組みをつくる

#### 2 作業前などの手洗い

- ・こまめに手洗いをする  
＜調理施設に入る前、調理前(次の調理作業の合間や盛付け前等)、トイレの後等＞
- ・指先や爪の間、手首など、汚れの残りやすい所を丁寧に洗う

#### 3 調理器具の消毒

- ・方法1：塩素消毒(洗剤などで十分に洗浄し、**塩素濃度200ppmの次亜塩素酸ナトリウム**で浸しながら拭く)
- ・方法2：熱湯消毒(**熱湯(85℃以上)で1分間以上加熱**する)

<厚生労働省チラシ参照>

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

みんなが変われば地域が変わる！

## 平成24年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー

本セミナーは、「地域でつながりづくり」や「絆」の大切さを地域住民、ボランティア活動者、専門職などの参加者が一緒に考え、官民一体となった住民主体の元気な地域づくりを進めることを目的に開催します。

日時 平成25年2月27日(水) 10時30分～15時30分 (受付9時30分から)

会場 **福岡国際会議場** 2階 多目的ホール  
(福岡市博多区石城町2-1 ☎ 092(262)4111)

- 入場無料
- 会場で障害者の方々が作ったまごころ製品を販売!
- 楽しいレクリエーションも開催!

講演 10:45～12:15

演題 「支え合いマップで始めるご近所同士の助け合い」  
講師 木原 孝久氏 住民流福祉総合研究所 所長



住民流福祉総合研究所  
所長 木原 孝久氏

実践報告 13:45～15:30

- 大牟田市三池校区社会福祉協議会  
NPO法人おおむた・わいわいまちづくりネットワーク
- ご近所応援団 元気くらぶ (小郡市)
- さつま町白男川地区社会福祉協議会  
さつま町社会福祉協議会 (鹿児島県)

## 平成24年度 子育て支援研修会 子育て支援にかたろう

参加費  
無料

託児つき

今日の子どもを取り巻く状況とそれがもたらす子どもへの影響について理解するとともに、「支援者としての関わり方・心構え」「関係機関との協働」など地域ぐるみの子育ての大切さについて学びます。

日時 平成25年3月6日(水) 10時30分～15時 (受付10時から)

講演 10:40～12:10  
子育ては地域の中で、仲間とともに  
～親子・家族・地域の絆の大切さ～  
講師 案浦 寿美代さん  
(香蘭女子短期大学 保育科 講師)

実践報告 13:00～15:00  
子育て支援者の役割について考える  
・NPO法人チャイルドケアセンター(大野城市)  
・八女市民生委員児童委員協議会  
・社会福祉法人嘉麻市社会福祉協議会

会場  
九州ビル9階大ホール  
福岡市博多区博多駅南1-8-31



どなたでも  
参加できます

【問合せ先】 地域福祉部 地域課

☎ 092(584)3377 FAX 092(584)3369 HPアドレス: <http://www.fsw.or.jp/>

# ソウェルクラブ新規会員募集中!

魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます

## <福利厚生センター (ソウェルクラブ) とは>

社会福祉法に基づき、社会福祉事業に従事する職員に健康・生活・余暇・啓発など多様な福利厚生サービスを提供する全国で唯一の厚生労働大臣から指定された法人です。

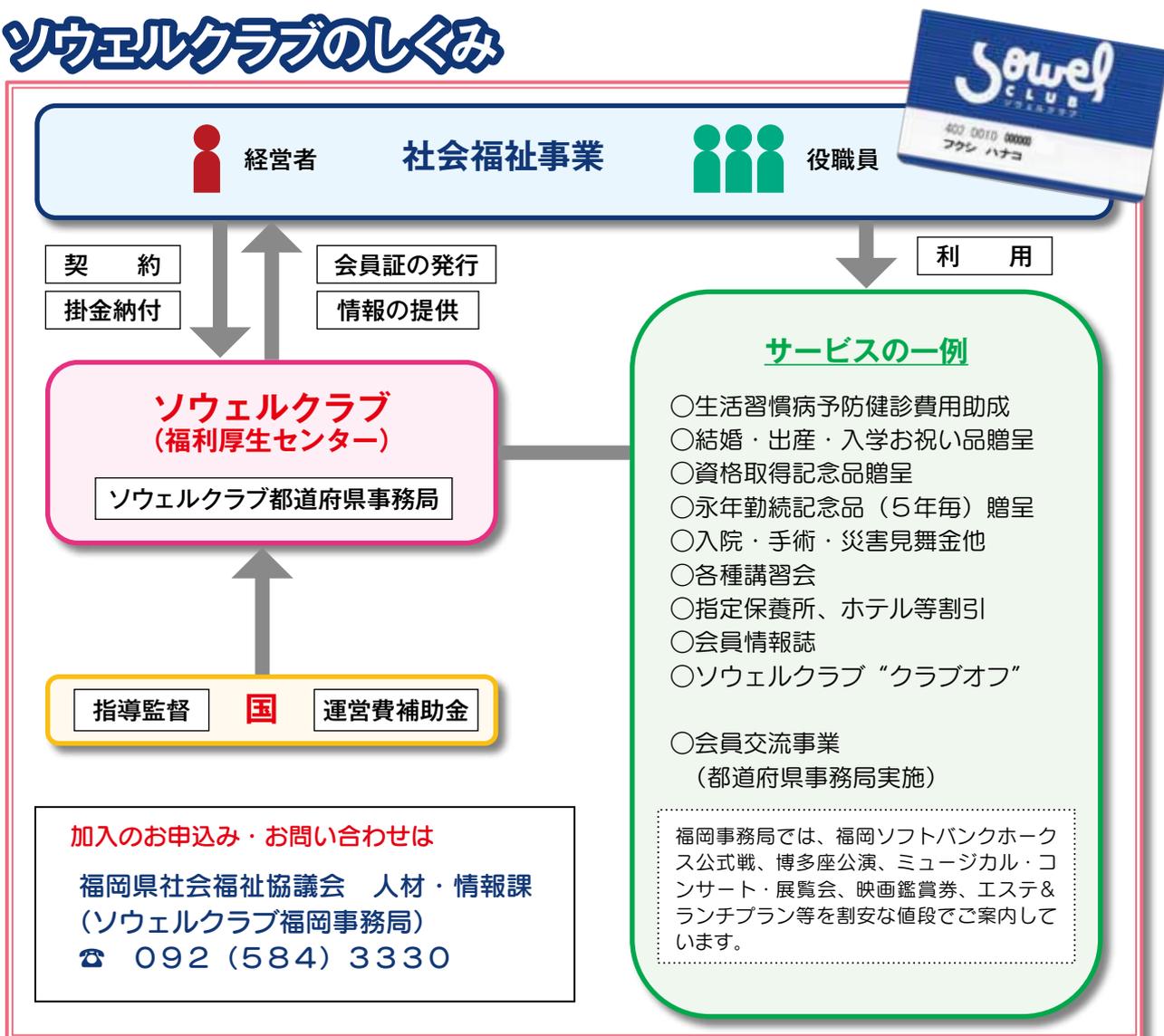
## <入会できるのは>

- 社会福祉事業に携わる常勤の役職員。
- 非常勤職員、嘱託職員、パートタイマーなどの職員及び法人の非常勤役員や、同一法人において社会福祉事業以外の業務に携わる職員。

## <掛金は>

職員1人あたり毎年度1万円(一月あたり833円)

## ソウェルクラブのしくみ





福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています  
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設総合損害補償

# しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営している社会福祉施設です。

## プラン1 施設業務のための補償 (賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

### 1 基本補償

保険期間1年職種級別A級

▶補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
	事故初期見舞費用(1名につき)	死亡10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	利用者傷害死亡事故弔慰金		死亡(重度後遺障害) 100万円(78~100万円)
	利用者傷害事故見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
基本補償(A型)	定員	
	1~50名	33,000~59,400円
	51~100名	66,000~94,200円
	101~150名	96,000~103,200円
	151~200名	104,700~110,700円
以降1名~10名増ごと		1,500円
見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,400円 通所:1,500円
	+	

- オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ●施設の医療事故補償

### 2 個人情報漏えい対応補償

施設の利用者の個人情報が一漏えいし、施設(法人)に法律上の賠償責任が発生した場合の損害賠償金等を補償

### 3 施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

## プラン2 施設利用者のための補償 (普通傷害保険)

### 1 入所型施設利用者の傷害事故補償 2 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年職種級別A級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	死亡・後遺障害保険金額の3~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
1 入所型施設利用者	1,410円
2 通所型施設利用者	960円

### 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

## プラン3 施設職員のための補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

### 1 施設の労災上乗せ補償 2 施設職員の傷害事故補償 3 施設職員の感染症罹患事故補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記をお願いします。

団体契約者 社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
 (引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン (SJ11-12204 2012.2.24作成)

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

福祉の就職総合フェア2013

参加  
求人事業所  
約 **130**  
ブース

# 福祉の職場 合同就職面談会



**参加費無料**

**日時** 平成25年 **2月1日(金)** 10:30~15:00 (受付時間10:00~14:30)

**会場** クローバープラザ 大ホールほか(福岡県春日市原町3-1-7)

**参加対象**

- 福祉の仕事に関心がある一般の方
- 進路を考えている高校生・短大生・大学生等  
(平成25年3月末に卒業の方)

**内容**

- 求人事業所と求職者との就職面談コーナー
- 各種相談コーナー
  - 福祉関係資格相談 ●求職相談・求職登録
- 障害者がつくるまごころ製品の展示・販売コーナー

**求職者向けセミナーの開催! 11:30~12:00**

福祉の仕事内容・職種、面談会で実践できるアピール方法等について学びます。

**参加事業所名を事前公開 平成25年1月11日(金)頃**

福岡県福祉人材センター ホームページ

<http://www.cloverplaza.or.jp/shakyou/stales/jinzai/>

**託児室**

お子さんを一時  
預かります(無料)



要予約。生後3か月以上の未就学児が対象です。



駐車場は確保できませんので、公共交通機関をご利用ください。  
最寄駅 JR春日駅 徒歩1分、西鉄春日原駅 徒歩8分

問合せ先

社会福祉法人福岡県社会福祉協議会 人材・情報課

福岡県春日市原町3-1-7クローバープラザ2階 ☎092-584-3310

(福岡県福祉人材センター)

主催 福岡県社会福祉協議会

共催 福岡県、福岡中央公共職業安定所、久留米市・飯塚市・行橋市・北九州市社会福祉協議会  
各福祉人材バンク、全国社会福祉協議会 中央福祉人材センター

後援 厚生労働省、福岡労働局、各社会福祉施設種別協議会、  
福岡県社会福祉施設経営者協議会、福岡県看護協会、福岡県母子寡婦福祉連合会

